

令和5年度第1回院内感染対策講習会・抗菌薬適正使用研修会

抗菌薬意識アンケート結果報告

5月26日に開催された研修会に出席された職員の皆様、大変お疲れ様でした。

当日会場で実施した「抗菌薬に関する意識調査アンケート」の結果の報告いたします。なお紙面の都合で報告は一部ですが、結果のすべては電子カルテトップ画面の「感染対策室からのお知らせ」から閲覧できるようにしてあります。一度アクセスしてみてください。

○当日アンケート回答職員：94名（下記グラフ内は人数）

考察：院内アンケート調査を全国調査と比較すると、当院職員の大半が医療従事者であり、抗菌薬の基本的な知識（例：抗菌薬・抗生物質はウイルスや風邪には効かない、処方された抗菌薬は最後まで残さず服用する）について正答率が高い傾向でした。

しかしまだ理解不十分な面もあり（薬剤耐性菌は病院だけでなく日常生活の多くの場面で存在する、ワンヘルス・アプローチの認知度・理解不足）今後の院内研修計画の参考にさせていただきます。

○ワンヘルス・アプローチとは：人だけでなく、動物・環境も同じように健康であるために、これらの衛生管理に関わる人々がそれぞれの分野を超え、連携して薬剤耐性対策に取り組んでいくこと。



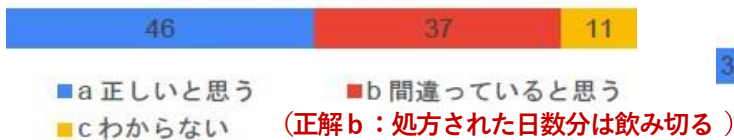
Q2-1 抗菌薬・抗生物質はウイルスをやっつける



Q2-2 抗菌薬・抗生物質は風邪に効く



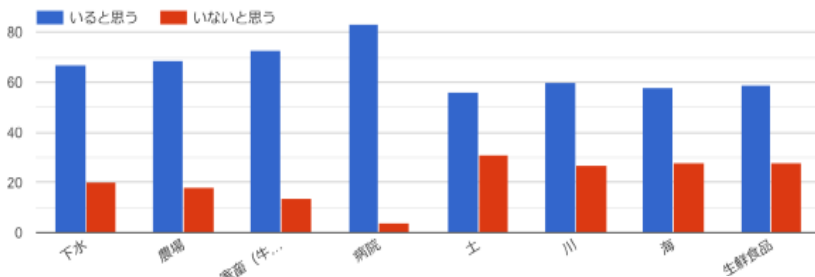
Q2-3 抗菌薬・抗生物質は治ったら早くやめる方がよい



Q5 あなたは日本で年間どれくらいの方が薬剤耐性菌の感染症で亡くなっていると思いますか



【Q4で解答aの方】Q8あなたはどこに薬剤耐性菌がいると思うかそれぞれお答えください

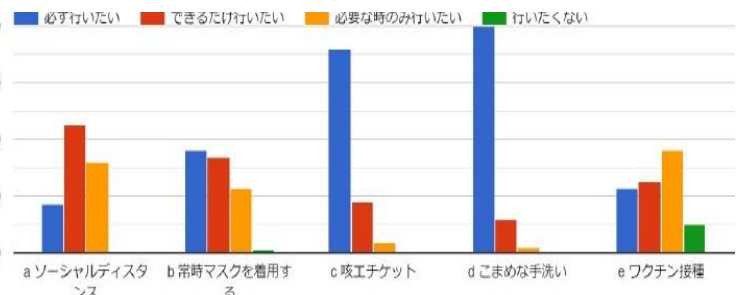


(正解：上記のすべての環境に薬剤耐性菌は存在します)

Q10 例えば今朝起きたら、だるくて鼻水、咳、のどの痛みがあり、熱を測ったら37℃でしたあなたは学校や職場を休みますか



【全員】Q16今後の感染予防対策として、あなたが続けようと思っていることをお答えください



抗菌薬適正使用:アンチバイオグラムの活用



➤ アンチバイオグラムって知っていますか？

Antibiogram ; 抗菌薬感受性率表とは、ある施設、ある一定期間において分離された微生物の各種抗菌薬への感受性 (%S, percent susceptible) を表形式にしたもののことです。

抗菌薬の感受性率は地域や施設ごとに差異があります。その原因として施設の規模や診療科の種類、患者背景、検出分離菌や薬剤耐性菌の検出状況、使用可能抗菌薬の種類など様々な背景が考えられます。このため、一定期間を区切り (1年間) 一覧表【アンチバイオグラム】にすることが推奨されています。

➤ アンチバイオグラムの活用方法

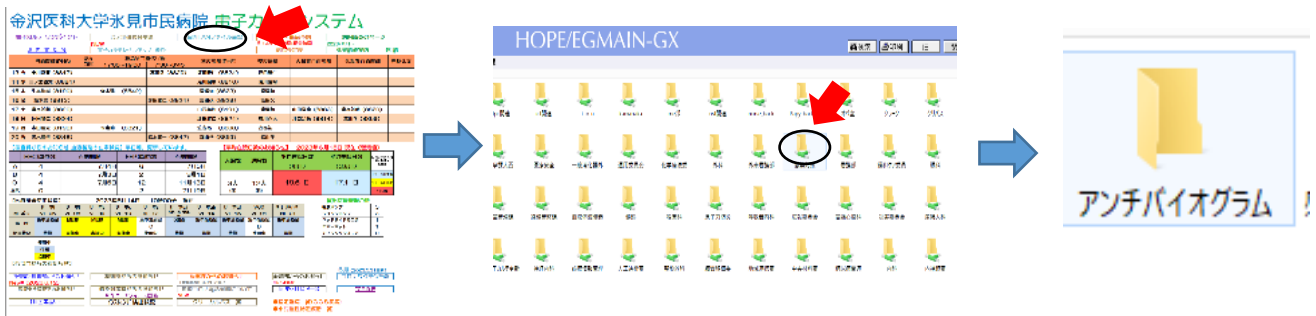
細菌の培養結果が確定する前に、患者背景、感染部位から原因菌を推定し (経験的治療) アンチバイオグラムから感受性率を参考に抗菌薬の選択に活用することができます。また、原因菌が確定後 感受性のある抗菌薬変更、または De-escalation 際に活用することが期待されます。(抗菌薬適正使用)

➤ アンチバイオグラムの見方

- ① 表の数値は全体に占める感受性菌の割合 % (S) です。
- ② 解析には 30 株数以上が望ましいため 当院での感受性検査実施株が 30 未満は参考値とし赤字で表示しました。

➤ 当院でのアンチバイオグラムの閲覧方法は2つあります

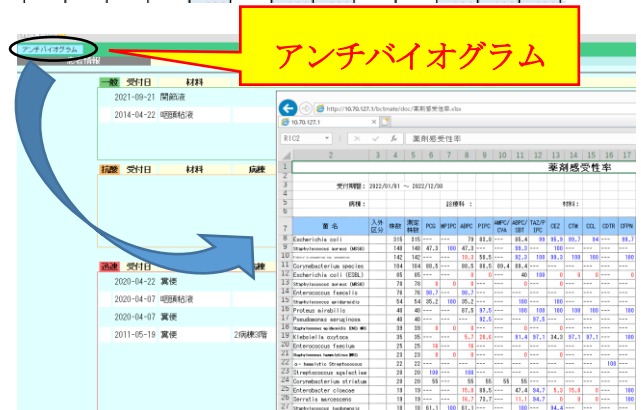
① 電子カルテトップ画面から見る方法 : 院内 LAN ファイル置き場→感染対策→アンチバイオグラム



分離菌 (菌株数)	薬剤感受性 (%)																						
	菌名	総数	入院	外来	測定株数	PGG	ABPC	PIPC	CEZ	CTM	CMZ	FMOX	CTX	CTRX	CAZ	CPR	CZOP	CFPM	TAZ/PIPC	ABPC/SBT	SBT/OPZ	IPM	MEPM
Esch. coli	316	104	212	316	---	79.1	83.9	95.9	99.7	99.7	99.7	99.7	99.7	99.7	99.7	---	---	99.7	99.1	85.4	100	100	100
Esch. coli (ESBL)	85	36	49	85	---	0	0	0	0	100	100	0	0	0	---	---	0	100	40.0	76.5	100	100	
Kleb. pneumo. ssp. pneu.	142	54	88	142	---	18.3	58.5	99.3	100	100	100	100	100	100	100	---	---	100	100	92.3	99.3	100	100
Kleb. pneumo. ssp. pneu. (ESBL)	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
Ser. marcescens	19	8	11	19	---	16.7	73.7	0	0	83.3	61.1	---	77.8	78.9	---	---	100	100	94.7	11.1	100	---	100
Enterob. cloacae	19	5	14	19	---	15.8	89.5	5.3	15.8	15.8	15.8	89.5	89.5	89.5	---	---	---	100	94.7	47.4	94.7	100	100
Prot. mirabilis	40	15	25	40	---	87.5	97.5	100	100	100	100	100	100	100	100	---	---	100	100	100	100	---	100

表の一部抜粋

② 患者カルテの細菌 WEB 結果を開き、画面の左上の「アンチバイオグラム」のアイコンを押すと前年度に検出されたすべての細菌の薬剤感受性率も閲覧可能になっています。



参考文献 1) 感染症教育コンソーシアムアンチバイオグラム作成ガイドライン作成チーム: アンチバイオグラム作成ガイドライン 2019年3月
2) 小森敏明: アンチバイオグラムの作り方、使い方 検査と技術 vol48 402-407,2020